

依頼されたお墓を磨きあげ、塗装で仕上げる石材洗淨士の坂田正一さん。40年以上前に建てられたお墓が新品のようになった。名古屋市緑区で



墓石清掃 猛暑で依頼増

猛暑が続く今夏、墓石清掃を専門業者に依頼する人が増えている。炎天下の作業による熱中症を懸念し、お盆の墓参りや墓掃除を断念する人が墓石クリーニングを頼んでいるようだ。旧盆の15日、名古屋市緑区内の墓地の一角で、石材洗淨士の坂田正一さん(62)が、1981年に建てられた墓石を丹念に磨いている。水あかを落とす後、特殊なコーティング剤を塗り込み、汚れが付きにくい

熱中症リスク 影響

加工を施した。1基の掃除に約7時間かかった。坂田さんは、墓石クリーニング事業を手がける「アシストーン」(同市西区)の代理店。この日も依頼を受け、早朝から作業に取りかかっていた。「クリーニングをしている時に『清掃してほしい』と声をかけられたこともある」と需要増の実感を語る。

アシストーンによると、昨年6〜7月には依頼が35件だったが、今年は同時期に63件あった。同社の伊藤清文社長によると、墓を管理しているのは高齢者が多く、墓掃除が体力的に負担になるほか、今年は熱中症のリスクから炎天下の作業を親族から止められ、同社に代行を依頼する事例も増えている。

7月に初めてクリーニングを依頼した同市瑞穂区の稲熊国代さん(82)は「墓のある霊園を通るたび、汚れが気になっていたから、すぐきれいになって満足。

今年には特に暑かったから助かった」と話し、夫と子どもが眠る墓を見つめた。アシストーンは、墓石クリーニング事業を2010年から展開し、クリーニングの施工実績は5万基。墓の大きさや経過年数によ

って料金は5万〜15万円ほど。最近では墓じまいをする人も少なくないが、伊藤社長は「お墓をきれいな状態にしたい方もいて二極化している」と分析。坂田さんは「お墓参りに来る人が少しでも楽になれば」と話している。(梅田歳晴)